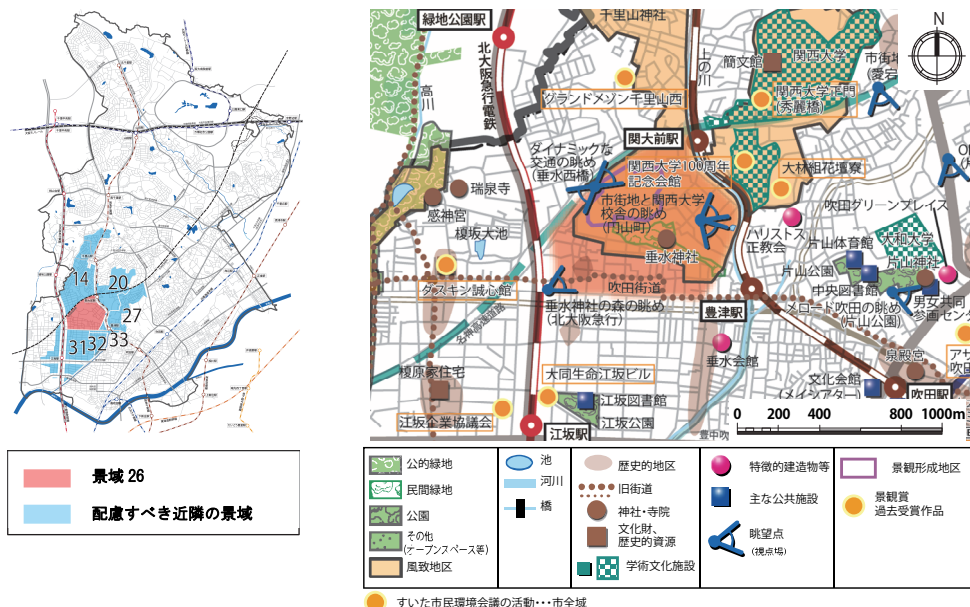


景域 26 円山町界隈



垂水神社の緑を望む、豊かで風格のある住宅地

地形

千里丘陵の端に位置しています。垂水神社を頂点に南北、東西ともに坂になっており、垂水神社のまとまった緑が、眺めの背景となって見え、緑豊かなまちの印象を高めています。

歴史

垂水神社が、豊かな森に包まれるようにして鎮座しており、昭和初期に面的に整備された円山町では、桜並木の通りを中心に、石垣や生垣の連なる風格ある住宅地景観が形成されています。また、近年、大規模な宅地開発が行われ、無電柱化により広がりのあるまちなみが形成され、良好な景観をつくり出しています。

土地利用

風格ある緑豊かな住宅地です。老朽化し伐採された桜の切り株や、住宅の建替えなどとともに生垣や石垣の減少などがみられ、地域の調和と、敷地の保全が重要です。

都市活動・暮らし

円山町の桜並木は素晴らしく、桜越しに市街地を眺めることができ、垂水西橋からは名神高速のダイナミックな交通景観が見られ、眺望に優れています。

一部の地区が都市計画法に基づく風致地区に指定され、緑化率などの基準が定められ、緑豊かなまちなみが保全されています。



風格ある生垣と石垣



垂水神社

豊かな緑をまもり、ゆとりと地域との調和を持たせ風格のある住宅地をつくり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 垂水神社の豊かな緑などを保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 斜面緑地の保全に努める。
- 樹林・樹木の適正な維持管理に努める。
- 河川などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 護岸や橋のデザインを工夫する。
- 緑と調和するまちづくりに努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 生垣や石垣、また並木や屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 地形になじみ、周辺の住宅地の景観に調和する建物づくりに努める。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 祭りやイベントの舞台となりえる空間を創出し、人々のアクティビティを誘発する景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 建物の配置やデザインを工夫し、緑化などにより、風格ある質の高い住宅地の景観の形成を図る。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 名神高速道路の遮音壁や線路周辺などの緑化や修景に努める。
- 景観資源をまもり、はぐくむ。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 眺望の対象となる自然や市街地の景観をまもり、はぐくむ。
- 誰もが眺望を楽しめる場として、眺望点の活用を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 14, 20, 27, 31, 32, 33, 45